

## 令和7年7月熊野市教育委員会会議録

1. 日 時 令和7年7月31日（木） 午後4時00分から
2. 場 所 文化交流センター 多目的ルーム
3. 出席者 倉本教育長、根引委員、糸川委員、北野委員、澤田委員
4. 事務局説明員  
雑賀総務課長、西村学校教育課長、水口社会教育課長、  
中田総務課庶務係長

5. 教育長報告

6. 議 事

議案第1号 熊野市学校運営協議会委員の委嘱について

7. 報 告

8. その他

- ・カムチャツカ沖地震により発令された津波警報に係る対応について（各課）
- ・飛鳥地区におけるクマの目撃情報（7/29）及び対応について（学校教育課）
- ・学力・学習調査結果の概要及び今後の取組について（学校教育課）
- ・他県における盗撮事件及び市の取組について（学校教育課）

□開会（開会の宣言）

（教育長）それではただいまから、令和7年7月熊野市教育委員会議を開催いたします。事項書に沿って進めてまいります。

□教育長報告

（教育長）事項2 報告、別紙をご覧ください。

（経過報告、事件・事故等、今後の予定・その他について報告）

（教育長）それでは、教育長報告の中で質問等ございませんでしょうか。

（委 員）地域未来塾は5日～8日と26日～29日に分かれています、それぞれ別に申し込みをするということですか。

（事務局）それぞれ希望する日で申し込んでいただいています。

（委 員）前半と後半と、どちらも参加することはできるんですか。

（事務局）できます。1点追加ですが、8月の19日（火）～22日（金）は地域会場ということで市民会館とは違う山間部等の学校を指定した開催も予定されています。

（委 員）指導にあたる学生さんは、山間部まで送迎できるようになっているのでしょうか。

- (事務局) 近くに住んでいる大学生の場合は直接行ってもらいますが、行けない学生については学校教育課で送迎し、講師を務めていただきます。
- (委員) わかりました。職場体験で御浜中学校は9日～10日、北山中学校は9日～12日となっていますが、県が違くと体験する日数が異なるのでしょうか。
- (事務局) 学校の希望を伺い、その時のシフト状況や行事の都合をすり合わせた結果、2日になったり、3日になったりすることはあります。
- (委員) 9日～12日の4日間すべてではなくて、この間の何日かということですか。
- (事務局) 後ほど、きちんと確認させていただきます。
- (委員) 地域未来塾は、どのくらいの生徒が参加しているのですか。
- (事務局) 申し訳ありません。具体的な人数は把握しておりませんので、確認させていただきます。
- (委員) 学年指定ですか。
- (事務局) 4年生から6年生となります。
- (委員) 夏休みに子どもの勉強のために開催されるものですね。
- (事務局) それもありますし、特に大学生がこちらに帰ってきていただいて講師を務めてもらう中でまた地元にもということも含めてという形になります。
- (委員) 学年を決め、市民会館か山間部かと日にちを指定して熊野市としては開催しているということですが、紀宝町では5会場を設けてかなりの日数、学習会という形で開催されているようです。熊野市は日数が少なく、学年も指定して実施しているようですが、その違いはどのような点にあるのでしょうか。その理由や背景などがあると思いますので、教えていただきたいと思います。
- (事務局) 地域未来塾という目的で開催しておりますが、講師には大学生を充てています。大学生の日程の都合もありますが、学習内容についても、夏休みに学校で出される課題に取り組むのではなく、県が作成した学習用教材を使いながら学習するという方針で実施しております。そのため、紀宝町とは趣旨が異なる状況ですので、ある程度の期間や学年を指定する形で開催させていただいております。
- (委員) より意欲的に学習したい子が集まるという趣旨でしょうか。
- (事務局) そうですね。
- (委員) 最初に人数をお尋ねしたのは、紀宝町では40%～50%近い子どもが参加しているという話でしたので、熊野市の子どもはどのくらい参加しているのかと思い、お尋ねしました。

- (事務局) 地域未来塾は冬休みにも開催を予定しておりますが、送迎の問題もございませので、希望者を募って実施させていただきます。
- (教育長) 地域未来塾につきましては、熊野市がずいぶん前から取り組んでいるもので、子どもに近い年齢の大学生を講師に充てることは、子どもの学習意欲を非常に高める効果があります。もう一つは、大学生が子どもを指導するという経験は、将来教員になりたいという思いをさらに強くする機会にもなります。その他、ございませんでしょうか。
- (委員) ありません。
- (教育長) 事項5その他を先に進めたいと思います。カムチャツカ沖地震により発令された津波警報に係る対応についてお願いします。
- (事務局) (カムチャツカ沖地震により発令された津波警報に係る対応について説明)
- (教育長) 各課の対応につきまして質問等ございませんでしょうか。
- (教育長) ないようですので進めさせていただきます。飛鳥地区におけるクマの目撃情報(7/29)及び対応についてお願いします。
- (事務局) (飛鳥地区におけるクマの目撃情報(7/29)及び対応について説明)
- (教育長) 質問等ございませんでしょうか。
- (教育長) 進めてまいります。学力・学習調査結果の概要及び今後の取組についてお願いします。
- (事務局) (学力・学習調査結果の概要及び今後の取組について説明)
- (教育長) 質問等ございませんでしょうか。
- (教育長) ないようですので進めさせていただきます。他県における盗撮事件及び市の取組についてお願いします。
- (事務局) (他県における盗撮事件及び市の取組について説明)
- (教育長) 質問等ございませんでしょうか。
- (委員) 先生の「変な癖」がわかるような調査のようなものはないのでしょうか。
- (事務局) 学校の方では、児童生徒に対してわいせつ・セクハラに関する調査を実施させていただいています。自身が経験したことがないか、あるいは見たり聞いたりしたことはないかというアンケートを取っています。
- (委員) 子どもの聞き取り調査だけでは不十分な気がします。同じ行為であっても子ども側の感じ方も違うのではないのでしょうか。
- (事務局) 児童生徒だけではなく保護者の方に対しても、そのような話を聞いていないかということや、私たちもどこまで研修ができるか分かりませませんが、チェックリストを活用しながら、学校内でのわいせつやセク

ハラ行為にあたる行為については、子どもによって捉え方が違うこと。教師が励ますつもりで例えば頭を触ったことでもセクハラ行為につながるという認識を持ってもらうための研修、あるいは繰り返し周知を行っているところです。

(委員) 本当に駄目なことは駄目ですけど、すべてが禁止となってくると、先生と生徒の接し方に壁ができてしまうというか、現場の先生方にとっては難しい時代ですね。

(事務局) 学校の先生として非常に悩まれる声は聞かせてはもらいますが、このような問題が続いて起こっていることを踏まえると、その認識をしっかりとっておくことが大事なのかなと思います。

(委員) 盗撮したりセクハラしたりする方々へは厳しく指導し、チェックしてほしいと思いますが、今回保護者向けのものや対策を拝見した際、対策にはなるとは思いますが、あまりにも厳しくしすぎて、真面目にやっている先生方にとってやりにくい環境になってしまうのも、不都合ではないかと思いました。

(教育長) 他県での盗撮や SNS 上での共有事件を受け、学校教育は非常に強い逆風にさらされています。現在、熊野市教育委員会としてできることを学校の校長会で話し合う中で、とりあえずこれを守っていこうと決めています。そうすれば、もしそういった行為を行う人間がいたとしても抑止力になるだろうと。昨年から子どもたちに触れてよいのは、身体介助の場合と、体育の時間で体を支えたり補助したりする場合のみとし、それ以外は触れないという方針になっています。密室での1対1の対応はしないということも徹底しております。そういった部分を改めて確認するとともに、スマートフォンの扱いについても整理を行ったところでございます。

(委員) スキンシップというの、時には大事な場合もありますよね。

(教育長) 様々なケースがありますので、ケースバイケースで対応するべきです。大切なのは信頼関係ですね。その他、ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

(委員) はい。

(事務局) 北山中の職場体験についてご質問があった件ですが、図書館に確認したところ、9月11日、12日の2日間が職場体験の日数ということでした。

(委員) わかりました。

(教育長) それでは、事項3議事 議案第1号 熊野市学校運営協議会委員の委嘱についてお願いします。

(事務局) (議案第1号 熊野市学校運営協議会委員の委嘱について説明)

(委員) この方はどのような方なのか、教えていただけますか。

(事務局) NPO 法人の役員をされている方です。

(委員) どのような法人ですか。

(事務局) 確認の上、改めてご連絡させていただきます。

(教育長) その他、議案第1号につきまして質問等はございませんでしょうか。

(委員) ありません。

(教育長) 議案第1号 熊野市学校運営協議会委員の委嘱について承認いただけますでしょうか。

(委員) はい。

(教育長) ありがとうございます。それでは今までのところで質問はございませんでしょうか。

(事務局) 先ほどの熊野地域未来塾の申込人数ですが、全体で42人です。

(委員) それは延べではないですね。

(事務局) 延べではありません。

(教育長) 他ございませんでしょうか。それでは、これをもちまして令和7年7月教育委員会会議を閉じさせていただきます。次回の開催ですが、8月28日木曜日午後4時から当会場を予定しております。本日はありがとうございました。